



# 「いずみのひろば」

## あなたがたはこう祈りなさい。

(マタイによる福音書 6:5-13)

わたしたちは神さまの子どもです。神さまは、わたしたち一人一人のことが大好きなんです。いつも、わたしたち一人一人とお話をしてほしいと思っておられます。だから、わたしたちは、いつでも、どんなときでも「神さま、聞いて聞いて」とお祈りをする事ができます。

でも、どういうふうにお祈りすればいいんでしょう。イエスさまは、「あなたが祈るときは、奥まった自分の部屋に入って戸を開け、隠れたところおられるあなたの父に祈りなさい」とおっしゃいました。お部屋に入って戸を開けると、神さまと二人っきりになることができます。イエスさまの時代、奥まった部屋というのは物置で、窓もありませんでした。だから、戸を開けると真っ暗でした。真っ暗になると、自分の姿も見えなくなりやすから、自分の弱さや過ちを取り繕ったり、自分をよく見せようとしたりすることもなく、ありのまの、素直な気持ちで神さまと向き合うことができます。今のわたしたちは、イエスさまの時代と違って真っ暗にできるお部屋がないかもしれませんが、神さまと二人っきりになれる方法があります。自分をぶっつけてください。何も見えなくなりやすから、周りを気にしないで、神さまと二人っきりになって、お話しすることができるようなんです。

また、何も長いお祈りがいいわけではありません。神さまはわたしたち一人一人のことをずっと見てくださっていますから、お祈りする前から、わたしたちが願っていることはちゃんと分かっています。短くてもいいから、素直に、自分が思ったとおりお祈りすればいいんです。

わたしたちが神さまにお祈りをするとき、イエスさまもわたしたちと一緒に祈ってくださいます。わたしたちがしんどいときも嬉しいときもつらいときも、わたしたちといつも共にいて、共に喜んでくださっているイエスさまが、「じゃあ、一緒にお祈りしましょ」っておっしゃって一緒に祈ってくださいます。こんな心強いことはありません。

ぜひ、わたしたちも、いつもイエスさまが付けてくださっていることを覚えて、イエスさまと一緒に、お祈りを続けていきたいものです。

(お話し だだおかひろし先生)